

SEINAN GAKUIN UNIVERSITY MUSEUM

News

西南学院大学博物館ニュース

Volume **23** 2015.6

西南学院大学



無原罪懐胎の聖母マリア像
【西南学院大学博物館所蔵】

特集 フィリピンで信仰を集める聖なる像 無原罪懐胎の聖母マリア像

ヴォーリズ建築を求めて⑩ 大阪医科大学歴史資料館

特別展紹介 2015年度春季特別展 大学博物館共同企画V
西南学院大学博物館 × 東北学院大学博物館 「nexus」展

所蔵品紹介 無原罪懐胎の聖母マリア像

大学博物館紹介② 東北学院大学博物館



SEINAN GAKUIN
1920

ヴォーリス建築を求めて⑫

大阪医科大学歴史資料館

今回ご紹介するのは、大阪医科大学歴史資料館です。
大阪医科大学の前身である「大阪高等医学専門学校」は、1927年に大阪市東淀川区の仮校舎で開校し、その後すぐに現在の高槻市大学町に移転しました。その際、ヴォーリス建設事務所による原案を元に、本館や解剖館、「別館」（講堂）などの校舎群が建設されました。唯一現存している「別館」は1974年まで使用された後、附属看護専門学校の校舎として活用され、2003年には国の有形文化財となりました。復元改修を終え、現在は大阪医科大学歴史資料館として公開されています。建物には、凹凸状の壁（狭間胸壁）や葱



花形の装飾などが取り入れられています。古写真を見るとエキゾチックで美しい校舎群は壮観であり、当時の人々に驚きをもって迎えられたことでしょう。2014年には解剖館で使用されていたステンドグラスが窓にはめ込まれ、静謐さの中に鮮やかさが加わった、より魅力的な空間が作り出されています。

学芸調査員 野藤 妙



写真提供元／大阪医科大学

【大学博物館紹介②】

東北学院大学博物館

東北学院大学博物館は、当館のシンボル「墨書人面土器」をはじめとする考古学資料や、東北地方の特色ある庶民信仰を伝える民俗資料など豊富な資料を有しており、年に一度企画展が行われています。



東北学院は、キリスト教伝道者育成を目的として明治19年（1886年）に開設された私塾「仙台神学校」に起源を持ちます。学内には平成24年に国の登録有形文化財の指定を受けたデフォルト館など、貴重な歴史的建造物も残っています。平成23年（2011年）3月11日の東日本大震災では、大きな被害こそなかったものの、博物館が所在する仙台市青葉区でも震度6弱（後に震度6強）を記録しました。以来、東北学院大学博物館では学生らを中心に文化財レスキュー活動を行ってきました。深刻な被害を受けた旧牡鹿町の鮎川収蔵庫の



資料を一時保管して、津波による資料の劣化を食い止めるためのクリーニングを地道に続けています。また津波によって資料台帳が流出し、資料の呼称や使用方法等の情報が失われてしまったため、地元の方にインタビューを行い資料の情報を集める作業にも取り組んできました。

文化財は地域の宝です。歴史を見つめ、未来に伝える活動を地域一丸となって行う、まさに現在を生きる博物館です。

学芸調査員 筒井 晴佳

開館時間／午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）
休館日／日曜日、祝日・休日、大学の定める休業日
入館料／一般200円
お問合せ／〒980-8511 宮城県仙台市青葉区土樋1-3-1
TEL:022-264-6920 FAX:022-264-6917

無原罪懐胎の聖母マリア像

高さ27.5cm × 奥行8cm × 幅9cm
フィリピン・18世紀・木製

フィリピンで信仰を
集める聖なる像

キリスト教文化を育むフィリピンには、教会や家庭の祭壇に置かれる「サント」と呼ばれる聖像があります。「サント」とは、スペイン語で「聖なる像」を意味するもので、16世紀にスペインがキリスト教を同地に広めた背景に由来します。

本資料は、聖母マリアが原罪なくして母アンナに宿ったという考えに基づく主題のサントです。本主題はスペインで流行し祭壇画などに多く描かれました。本資料には17世紀に活躍したスペイン人画家たちの作例と類似した特色が見られ、



聖母のローブに付着した青い顔料



聖母の足もとに彫られた天使の様子

スペインの作例を参考としている可能性が高いと思われます。また、聖母マリアのローブにはかすかな青の顔料が付着しており、青いローブをまっていたと考えられ、その点も本主題の17世紀の伝統的図像に従っているといえます。サントの制作には、専門の職人のほか、一般信徒たちも制作したものがありますが、本資料は伝統的な図像の採用と、聖母の顔や衣服に細やかな表現が見られることから、職人によるものと思われます。

現在では、露店などでも彩色豊かなサントを手にすることができ、フィリピンの人々の身近な存在として家庭の祭壇を飾っています。

学芸研究員 内島 美奈子

学芸員の眼 — 資料の収集とその成果 —

資料の収集には、それぞれの博物館の方針があります。当館はキリスト教を建学の精神としている大学の博物館であるため、キリスト教文化に関するものを中心に収集しております。開館から約10年間がたった今、キリスト教の歴史を概観できるようなコレクションとなりました。その成果は、キリスト教史に関する一連のコレクションとして他館に借用できるまでになり、2015年2月から3月まで熊本の天草

キリタン館に貸し出しを行いました。

このような機会は、学外において大学をPRすることはもちろん、大学から飛び出した外との交流を生み、大学博物館としての活動を広げることに繋がっています。これからも、資料の収集を続けるとともに、在学生の皆さんに参加してもらえる機会を生み出していきたいと思っています。

学芸研究員 内島 美奈子



天草キリタン館の特別展開連イベントとして行ったワークショップの様子
天草キリタン館で行われた当館コレクション展の展示風景



博物館通信

2015年3月から2015年4月までにおこなった博物館活動や出来事のなかからいくつか紹介をします。



3月12日(木) 南島原市との研究・教育に関する協定調印式を執り行いました。



3月14日(土) 第4回目せいなんこどもワークショップ「しおりをつくってみよう」を実施しました。



3月15日(日) 天草キリシタン館でせいなんおでかけワークショップ「天草四郎をデコレーション in 天草キリシタン館」を実施しました。



3月25日(水) 西南学院大学博物館×南島原市・官学連携事業・相互貸借特集展示Ⅰ「原城攻防と祈り」を本学博物館にて展示を開始しました。7月3日(金)まで開催。



3月31日(火) 本学博物館の安高啓明学芸員(2015年4月1日より熊本大学文学部准教授)が『西南学院大学博物館資料叢書Ⅰ 耶蘇宗徒群居搜索書』を刊行しました。



3月31日(火) 『西南学院大学博物館事業報告書Ⅰ 大学博物館連携事業—官学・産官学連携事業実践報告—』を刊行しました。



4月1日(水) 西南学院創立100周年記念学院史企画展Ⅱ「西南学院を支えた宣師教とキリスト者たち」を本学博物館で開始しました。5月29日(金)まで開催。



4月25日(土) 西南学院大学博物館 × 國學院大學博物館 大学博物館連携常設事業相互貸借特集展示Ⅲ「聖なる光—魔鏡—」を本学博物館にて展示を開始しました。9月25日(金)まで開催。



調印式



しおりをつくってみよう



天草四郎をデコレーション



相互貸借特集展示Ⅰ

耶蘇宗徒群居搜索書



官学・産官学連携事業実践報告

國學院大學博物館サテライト展示ブース

相互貸借特集展示Ⅱ「ともし火の系譜—古代ランプからユダヤの祭具—」

会場／國學院大學博物館
会期／2015年4月20日(月)～9月4日(金)
入館料／無料



相互貸借特集展示Ⅲ「聖なる光—魔鏡—」

会場／西南学院大学博物館1階
会期／2015年4月25日(土)～9月25日(金)
入館料／無料



スタッフの声

寒かった冬も終わり、本格的な春が訪れました。当館が位置する福岡の西新界隈は学生街ということもあり、フレッシュな大学生から、ピカピカのランドセルを背負った小学生まで、いつも多くの学生で賑わっています。4月は学内の講義でも積極的に当館を利用されるため、学生にとって大学博物館が少しでも身近に感じられれば、スタッフ一同、嬉しい限りです。また、この季節になると、当館2階の講堂に初夏の木漏れ日が降り注ぎます。昼下がりには、柔らかく暖かな光が館内に差し込みます。ご来館された際には、ぜひ講堂の中でもゆったりとした時間をお過ごしください。

学芸調査員 阿部 大地

2015年度春季特別展 大学博物館共同企画Ⅴ

「nexus」展

絆・連携

会期／西南学院大学博物館会場

東日本大震災と文化遺産

—被災と復旧、そして文化創造へ—

2015年 6月12日(金)～8月4日(火)

東北学院大学博物館会場

キリスト教の源流と東方伝播

—受容と禁教、そして解禁—

2015年 6月12日(金)～8月6日(木)

主催／西南学院大学博物館 & 東北学院大学博物館

後援／福岡県・福岡県教育委員会・福岡市・福岡市教育委員会・福岡市文化芸術振興財団



◇開催概要

本展覧会は西南学院大学博物館・大学博物館共同企画シリーズ第5弾です。今回は「nexus(絆・連携)」と題し、同じキリスト教系の大学である東北学院大学博物館と交換展示を行います。学芸員養成、社会貢献を担う大学博物館として責任ある教育プログラムとし、実践力を兼ね備えた展覧会となることを目指します。東日本大震災から4年、東北学院大学博物館は学生を主体に被災した文化財の保全活動を行いながら復興の道を歩んでいます。本展覧会では、東北学院大学構内に保存されてきた仙台の初期キリスト教の遺産である「デフォレスト館」の調査状況と、宮城県の伝統

工芸「雄勝硯」の魅力をお伝えします。伝統的な天然スレート産業を守り、その維持に努める人々の活動にも焦点をあて、産地復興への道の模索が続く石巻市の現在をご紹介します。西南学院大学博物館からは豊富なユダヤ・キリスト教関係の所蔵資料を公開し、キリスト教の源流であるユダヤにはじまり、世界に広がっていく中でどのように受容されたのか、その実体に迫ります。17世紀から19世紀のほとんどが禁教下にあった日本では、どのようにキリスト教は根ざし、人々の間で信仰が守られていったのでしょうか。日本におけるキリスト教の受容、解禁にいたるまでを追っていきます。

◇展示構成

【西南学院大学博物館会場】

東日本大震災と文化遺産

—被災と復旧、そして文化創造へ—

- I ミュージアムの復興に向けて
—学生主体による「石巻市鮎川収蔵庫」の文化財レスキュー活動—
- II 伝統工芸の復興に向けて
—国の伝統的工芸品「雄勝硯」と国産天然スレートの現在—
- III 近代建築の価値再発見に向けて
—仙台の宣教師館「デフォレスト館」(国の登録有形文化財)の調査—



【東北学院大学博物館会場】

キリスト教の源流と東方伝播

—受容と禁教、そして解禁—

- I キリスト教の起源 — ユダヤ—
- II キリスト教の広まり
- III 日本キリスト教史 — 光と影—
- IV 禁教解禁に向かって



行事予定

2015(平成27)年

【特別展／企画展】

6月12日(金)～8月4日(火)

大学博物館共同企画V「nexus」展
東北編「東日本大震災と文化遺産－被災と復旧、そして文化創造へ－」
[場所]西南学院大学博物館1階特別展室、2階講堂

6月12日(金)～8月6日(木)

大学博物館共同企画V「nexus」展
西南編「キリスト教の源流と東方伝播－受容と禁教、そして解禁－」
[場所]東北学院大学博物館

3月25日(水)～7月3日(金)

西南学院大学博物館 × 南島原市
相互貸借特集展示I「原城攻防と祈り」
[場所]西南学院大学博物館1階常設展室

4月20日(月)～9月4日(金)

西南学院大学博物館 × 國學院大學博物館
相互貸借特集展示II「ともし火の系譜－古代ランプからユダヤの祭具－」
[場所]國學院大學博物館

4月25日(土)～9月25日(金)

西南学院大学博物館 × 國學院大學博物館
相互貸借特集展示III「聖なる光－魔鏡－」
[場所]西南学院大学博物館1階廊下

【イベント】

7月5日(日) 10:00～17:00

西南学院大学博物館 × 東北学院大学博物館合同イベント
〈午前の部〉10:00～12:00 せいなん+とうほくこどもワークショップ
「東北の“すべらない話”」
[場所]西南コミュニティーセンター

〈午後の部〉14:00～17:00 ミュージアム・セッションII

「実学教育の拠点－大学博物館の役割と活動報告－」
[場所]西南学院大学博物館2階講堂
[講師]安高啓明氏(熊本大学文学部准教授)
加藤幸治氏(東北学院大学文学部准教授)
東北学院大学学生(文化財レスキュー班)

【講演会】

7月11日(土) 13:30～15:00

特別展開関連公開講演会
[場所]東北学院大学博物館
[講師]加藤幸治氏(東北学院大学文学部准教授)
安高啓明氏(熊本大学文学部准教授)

【せいなんこどもワークショップ2015】

8月29日(土) 10:00～12:00

「マール紙をつくろう」
[場所]西南学院大学博物館

【せいなんおでかけワークショップ】

7月11日(土) 10:00～12:00

「おもしろセンス～手作りセンスをつくろう～」
[場所]東北学院大学博物館

7月19日(日)

「手作りカルタご紹介!～わが家オススメの一冊～」
[場所]南島原市有家図書館

その他、幅広いニーズに合わせて団体見学会等も実施しております。
なお、予定は変更することもございますので、ご了承くださいませようお願い申し上げます。

西南学院大学博物館

SEINAN GAKUIN UNIVERSITY MUSEUM



〒814-8511 福岡市早良区西新3丁目13番1号

TEL.092-823-4785 FAX.092-823-4786/博物館事務局

URL <http://www.seinan-gu.ac.jp/museum/>

●開館時間のご案内

開館時間/10:00～18:00(入館は17:30まで)

休館日/毎週日曜日、夏期休暇[8/10～8/16]

キリスト降誕祭[12/25]、年末・年始[12/28-1/5]

入館料/無料

来館者掲示板

【来館者の言葉】

いつ来ても、人々の願いや思いにふりかえることができ、
落ち着いた時を過ごせます。ありがとうございます。

(2015年 2月)

今日は思いがけず通りがかって、W.Mギャロット先生の
写真を拝見し、懐かしくて飛び込んできました。
とても充実していて大変良い思い出となりました。

(2015年 4月)

タイムマシンでドージャー先生、ポールデン先生他、
西南学院を支えた先生方にお会いしたいものです。

(2015年 4月)

展示がより素晴らしいものになっていました。
今後とも良い発展をお祈りいたします。

(2015年 4月)

西南学院創立100周年を目前に控え、博物館ではこの
春に、学院史企画展II「西南学院を支えた宣教師とキ
リスト者たち」が開催されました。

来館者ノートに寄せられたメッセージもまた、これまでの
100年間、学院が築き上げてきたものが如何にして継承
されてきたのかを感じさせてくれます。

どうぞ来館の際には、皆様の足跡を100年のなかの
1ページに残していただければと思います。

学芸調査員 山尾 彩香

アクセスマップ

ACCESS MAP



福岡空港 → 西新駅下車 → 約17分
博多駅 → 西新駅下車 → 約12分
天神 → 西新駅下車 → 約8分
※地下鉄西新駅(③番出口)から徒歩5分



博多駅バスセンター → 修猷館前 → 約35分
天神 → 修猷館前 → 約20分
※修猷館前バス停から徒歩5分



福岡空港(福岡都市高速・百道ランプ) → 大学 → 約25分
博多駅(福岡都市高速・百道ランプ) → 大学 → 約20分
天神(福岡都市高速・百道ランプ) → 大学 → 約15分